

2008 年度第 2 回理事会 (文書審議理事会) 議事録

1. **開催期間** : 2008 年 9 月 8 日 (月) ~
9 月 17 日 (水)
2. **理事の総数** : 20 名 (2008 年 9 月 8 日現在 : 定足数 14 名)
3. **審議参加者** : 藤井理行, 成田秀明, 力石國男, 山田知充, 佐藤篤司, 東 信彦, 足立俊三, 井形和彦, 上田保司, 遠藤八十一, 加治屋安彦, 川田邦夫, 水津重雄, 角川咲江, 竹内 望, 西村浩一, 沼澤喜一, 本堂武夫, 山崎 剛, 横山宏太郎

4. 議 案 :

第 1 号議案 2008 年度学会賞受賞者の承認

学会賞受賞者審査委員会からの審査報告書に基づき, 審議参加者 20 名, 不参加者 0, 賛成 20, 反対 0 で, 以下の受賞候補者が, 2008 年度学会賞受賞者として承認された。

平田賞 : 竹内由香里

功績賞 : 対馬勝年

論文賞 : 曲面における砂凍土の凍着に関する基礎実験

(隅谷大作・上田保司・生頼孝博)

第 2 号議案 平成 20 年度中谷宇吉郎科学奨励賞推薦候補者の承認

中谷宇吉郎科学奨励賞受賞者審査委員会からの審査報告書に基づき審議参加者 20 名, 不参加者 0, 賛成 20, 反対 0 で, 以下の推薦候補者が, 平成 20 年度中谷宇吉郎科学奨励賞受賞候補者として承認された。

安成哲平

添付資料

資料 1 2008 年度日本雪氷学会学会賞受賞候補者審査報告

資料 2 平成 20 年度中谷宇吉郎科学奨励賞候補者の選考結果について

2008 年度第 3 回理事会議事録

1. **開催日時** : 2008 年 9 月 24 日 (水)
11 時 30 分 ~ 13 時 00 分
2. **開催場所** : 東京大学工学部 2 号館 2 階セミナー室 4
3. **理事の総数** : 20 名 (2008 年 9 月 24 日現在 : 定足数 14 名)
4. **出席理事数** : 20 名
(内訳 : 本人出席 17 名) : 藤井理行, 成田秀明, 力石國男, 山田知充, 佐藤篤司, 東 信彦, 井形和彦, 上田保司, 遠藤八十一, 川田邦夫, 水津重雄, 角川咲江, 竹内 望, 西村浩一, 沼澤喜一, 山崎 剛, 横山宏太郎 (委任状出席者 3 名) : 足立俊

三, 加治屋安彦, 本堂武夫

(監事オブザーバー) : 成瀬廉

二, 三橋博巳

5. 議 事

西村理事 (総務委員長) が定款第 27 条に基づき理事会の成立を確認し, 議事録署名人として竹内理事と西村理事を指名した後, 藤井会長が議長となり議事が進行された。

1) 2008 年度上半期収支報告及び下半期収支計画について

竹内理事 (財務委員長) より, 資料 1 に基づき, 2008 年度本部上半期収支報告及び下半期収支計画の説明があり原案通り承認された。賛助・特別会員の漸減傾向の中において, 北海道支部では会員獲得の成果が挙がっ

ていることが報告され、引き続き各支部へもご協力をお願いしたい旨説明がなされた。

2) 2008 年度全国大会、公開シンポジウムについて

横山理事(事業委員長)より、雪工学会との合同事業のために発足した「雪氷研究大会運営協議会」において、2009 年度全国大会は北海道で今年度同様に雪工学会との合同開催となること、更に 2010 年度は仙台(東北支部)において同様に合同開催を行う旨確認されていることが報告された。引き続き、山田理事(北海道支部長)より、2009 年度雪氷研究大会は、北海道大学学術交流会館(札幌市)を主会場として、9 月 28 日～10 月 2 日の間で開催できるよう計画中であることが報告された。

3) 2009・2010 役員選挙日程について

西村理事(総務委員長)より、資料 2 に基づき、2009・2010 年度役員選挙の実施に向けて、理事会候補者の決定を含む作業の日程調整、および「雪氷」70 巻 6 号(11 月号)に掲載を予定している候補者の立候補と推薦を求める公示について説明があり、承認された。

4) 2009 年度支部交付金について

竹内理事(財務委員長)より、資料 3 に基づき、2009 年度支部交付金の説明があり原案通り承認された。

交付金額については、この数年「支部・分科会活動支援基金」の残高が増加しているので交付額増額の検討の余地もあるが、現在、公益法人制度改革への対応として、各支部・分科会に対して新たな事業計画の募集を行っており、その経過を見ながら検討していきたい旨の説明が加えられた。

5) 支部・分科会活動支援基金の活用計画について

竹内理事(財務委員長)より、現行の公益法人指導監督基準の運用指針及び今年度から始まる公益法人制度改革への対応として、基金の目的と利用計画を明確にし、学会の事業比率を 1/2 以上に保っていくために、各支部、分科会に対して、それぞれが保有する支部・分科会活動支援基金による事業計画の具

体的な案を作っていただくをお願いをしていた旨の報告がなされた。

また、新制度において公益認定を申請する場合は、支部・分科会の枠を越えた学会としての事業経営が求められることになり、基金の管理も事業単位で行う必要があることの説明が加えられた。

各支部・分科会の事業計画案は 10 月末までに事務局(財務委員会)へ提出することが確認された。

6) 会費引き落とし月の変更について

竹内理事(財務委員長)より、資料 8 に基づき雪氷学会が年度末に繰り越す現預金額と内部留保率について説明があり、繰越額を下げるために会費の自動引き落とし月を 12 月から 4 月に変更することが提案され、承認された。

7) 公益法人制度改革への対応について

西村理事(総務委員長)より、資料 4 に基づき、公益法人制度改革の現況と新制度において予想される課題について説明があった。会長より、雪氷学会としての対応についてタスクフォースを設けて検討していきたい旨提案があり承認された。

6. 報告

1) 第 2 回理事会(文書審議理事会)審議結果について

西村理事(総務委員長)より、資料 5 に基づき、2008 年度第 2 回理事会(文書審議理事会)の審議結果について報告がなされた。

2) 電子情報委員会からの報告

水津理事(電子情報委員長)より資料 6 に基づき、雪氷学会の HP(ホームページ)より賛助会員の HP にリンクを張る作業を進めていること、学会 HP の一般向けコンテンツの拡充について、関連の委員会と連絡を取りながら実施体制の検討を行っていく予定であることが報告された。

また、(独)科学技術振興機構(JST)が実施する電子アーカイブ事業に応募中であることが報告され、選定された場合は、雪氷学会から費用無しに「雪氷」を電子化し、JST が運用するサイトで全文公開される予定である

との説明がなされた。

3) 展示パネル（貸し出しキット試作品）の製作について

角川理事（広報委員長）より資料 7 に基づき、展示パネルの試作品を山下晃会員の協力を得て作成したことが報告された。

4) 評議員の交代について

西村理事（総務委員長）より、評議員の大浦久到氏が退会し、後任として久保雅弘氏が推薦され就任をお願いしたことが報告された。

5) 平成 20 年度雪崩災害防止功労者表彰への推薦について

西村理事（総務委員長）より、国土交通省河川局より、例年、日本雪氷学会に対して推薦依頼のある「雪崩災害防止功労者表彰」の候補者として、遠藤八十一会員を推薦してい

ることが報告された。

6) 文部科学省実地検査について

西村理事（総務委員長）より、9 月 29 日に、文部科学省による所管公益法人の業務等の実地検査が、雪氷学会に対して実施されることが報告された。

添付資料

資料 1 2008 年度本部上半期収支報告および下半期収支計画

資料 2 2009・2010 年度役員選挙日程（案）

資料 3 2009 年度支部交付金計算書（案）

資料 4 公益法人制度改革の現況

資料 5 2008 年度第 2 回理事会（文書審議理會）議事録（案）

資料 6 電子情報委員会からの報告

資料 7 展示パネル（貸し出しキット試作品コピー）

資料 8 2005-2007 年度繰越金資料